

試験栽培の詳細



何れもレビオ肥料は反当たり300Kg散布

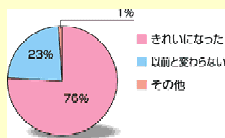
1年目
50坪づつの3区画に分け牛糞堆肥＋微少化成肥料、レビオ肥料＋微少化成肥料、化成肥料による比較栽培実施
レビオ肥料の有効性確認

2年目
レビオ堆肥＋化成肥料(基準施肥量の1/8) 散布鋤き込み後1週間で播種、定植実施
馬鈴薯・トウキビ・カボチャ・夏大根・枝豆・白菜・キャベツ・人参

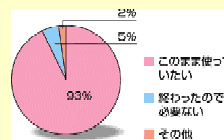
3年目
レビオ堆肥＋化成肥料(基準施肥量の1/8)散布鋤き込み後翌日播種、定植実施
白菜・キャベツ・秋大根(写真奥側) 秋大根収穫時の団粒化、ミズ増加を生産者確認

アンケート調査結果

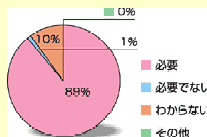
1. レビオポストを開始してからゴミステーションの周りは



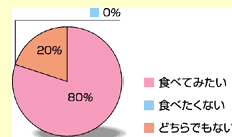
2. テストは7月をもって終了しますが「レビオポスト」について



3. レビオシステムは必要ですか



4. 生ごみからできた有機肥料で育てた農産物を食べてみたいですか？



このデータは平成12年4月～13年10月まで芦別市内で行った実証試験終了時にモニター家庭100所帯に対し行ったアンケート調査結果です。

2次処理機



- ・M社業務用生ゴミ処理機を一部改造の上流用
- ・処理能力80Kg/日でポスト200台まで対応可能
- ・処理最終段階で60度30分加熱し有害菌除外
- ・振動篩い機通過後計量袋詰め

分析結果報告書

株式会社 環境資源株式会社
 〒001-8501 北海道札幌市中央区南一条西五丁目1番1号
 TEL: 011-231-6660 FAX: 011-231-6668
 代表取締役 高瀬 謙

2011年11月10日

項目	分析結果	基準値	備考
全窒素	1.82	1.80	配合調整済
全リン	0.12	0.12	配合調整済
全炭素	1.12	1.12	配合調整済
有機炭素	0.80	0.80	配合調整済
水分	20.0	20.0	配合調整済
pH	6.5	6.5	配合調整済
全窒素	1.82	1.80	配合調整済
全リン	0.12	0.12	配合調整済
全炭素	1.12	1.12	配合調整済
有機炭素	0.80	0.80	配合調整済
水分	20.0	20.0	配合調整済
pH	6.5	6.5	配合調整済

経済産業省発行「環境ビジネス戦略」で全国モデル30社の一つに選定

環境ビジネス・全国事例研究 3 「都市生活と都市景観を重視した環境ビジネス」

会社名	株式会社 レビオ	代表者	高瀬 謙
所在地	北海道札幌市東区1丁目1-21	設立年	平成11年4月
TEL	0125-23-6660	FAX	0125-23-6668
		資本金	1,755万円

事業概要 <http://www.rebio.co.jp/>

地域コミュニティの生ゴミ処理システムであるレビオシステム(※右図)の運営

事業の特徴・ユニークな点

- ・コミュニティ協働型環境ビジネスに不足する景観等の環境デザイン重視
- ・北海道産産物クラスター振興(卸売レベルでの産学官連携の事業会社)に呼応した、道庁等の中小企業支援が、生ゴミリサイクルの親民間環境ビジネスを構築し運営。
- ・各社の保有技術を統合するため、装置・機器製造を札幌市ハルビニ製産企業に、機器からPR用キャブ・HJまでのデザインを広告会社に、その他の分野をタクシー会社、ビルメンテナンス会社、建築資材会社など8名で立ち上げ。地元農業者有志グループも委託関係で協力。
- ・地域住民システム利用顧客とするための、市民が理解し、親しみやすいシステムと連携、利用意欲を誘わせる機器、運搬車、システム、広告について、独自開発の景観重視の統一デザインを採用。
- ・公共の委託事業にはなかった良質なサービスと業務配産重視によりコミュニティ向け環境ビジネスとして発展のモデルを提供。

事業実績

- ・団地型レビオシステム・・・本格的な導入実績があるのは、これからだが、札幌・旭川・南幌等のマンションへ納入しており、マンション住民を主対象に営業販売展開中。道外からの引き合いも多く、今後の大幅普及の可能性がある。レビオポストは、地域のデザインコンペ金賞等のデザイン評価を獲得している。
- ・食品加工型レビオシステム・・・食空チェーンを対象に営業展開中。
- ・レビオ・オーガニックファーム・・・納入マンションの住人等からなるレビオ会員が増加中。現在、レビオ肥料での野菜生産(現在は従来農家を使用)にとどまらずレビオ・オーガニックファームでの農業体験等や交流事業。
- ・福祉施設への営業展開・・・福祉施設へのレビオシステムのサービス(生ゴミリサイクルと施設入居者のレビオファームでの農作業実習)

【レビオシステム】

団地型 食品工場型 自営店型

レビオ会員 → 有機農家
 レビオ・オーガニックファーム

社長の一言

大手メーカーと同じこととせよれば、装置ですから苦しいのは目にみえています。そこで、一定戸数をまとめた共同処理すること考えました。このレビオシステムは全国どこでも構築していくことができますので、声をかけていただきたい。

代表取締役 高瀬 謙

事務局コメント

- ・北海道内の主要経済団体・大学・公共が一体的に運営する「北海道産物クラスター構想」に呼応し設立された道庁内の産物クラスター組織が母体となり、中小企業支援企業群が、道・市・北大・小樽商大の支援のもと設立。
- ・生ゴミ堆肥化と有機農法を結び付けたコミュニティ型の資源循環ビジネスであり国内にも類似例が多数に及ぶが、都市農家への生活廃棄物の処理・運搬車の関係を確認したことは特筆すべきである。このため、現在都市の新築マンション住民を対象とした顧客が増えている。また、ユーザーへの環境配慮アフターケアとして、レビオ会員サービス(農業体験)の拡充が待たれる。